

国土交通省 NETIS 最高ランク「VE 評価」取得

電 気 新 聞

2022年(令和4年)4月19日(火曜日)

ホクデン

火力灰再生の接地電極材

国交省から最高評価

接地関連メーカーのホクデン(富山県立山町、戸栗和広社長)が国土交通省の新技术情報提供システム「NETIS」に登録している接地抵抗低減剤「ホクデンEPI-1」が、このほど、最高位の「VE評価」を取得した。施工者がVE評価を受けた技術を国土交通省所管の公共工事で使うと評価の向上につながる。登録先となる関東地方整備局の発注工事で実

用した導電性コンクリートの接地電極材。帯状接地工事で土地の接地抵抗を減らす。水に溶かす必要がなく施工性が高いほか、経年変化も少ない。関東地整局が新技术活用評価会議に提出した評価表では「従来技術に比べ材料費が安価」「土の水分を吸収し硬化するEPI灰で水で溶く作業が不要」など経済性や施工性を評価。今後の継続調査が不要なVE評価とした。施工者にもVE評価技術を採用する利点がある。公共工事の総合評価落札方式でVE評価の技術を採用して技術提案すると、技術評価表が5回以上提出されると、新技术活用評価会議で評価を受けら

れる。VE評価は継続調査が不要となり、評価が10年間適用される。

施した活用効果調査により、工程面や施工性などで高い評価を受けた。

ホクデンEPI-1

は、火力発電所の電気集じん機で集めた燃焼灰に含まれる炭素を活